

民泊家庭 70軒

日置市

東シナ海に面した海岸と温泉、さらに有名な史跡の多いまち。

日置市の特徴は一言では語りきれないくらい、地域によって魅力が違います。日本三大砂丘のひとつ、吹上浜に面した地域では魅力的な海が広がり、山側にはそれぞれに趣のある温泉が数多く点在しています。もちろん農産物や魚産物の宝庫でもあります。

鹿兒島空港から… 約40分

鹿兒島中央駅から… 約30分

知覧特攻平和会館から… 約1時間20分

※日置市役所までの所要時間です



伊集院・日吉地区

民泊家庭 / 25軒 / 70

伊集院のまちの中心地近くには、敵中突破で有名な島津義弘を祀る徳重神社(妙円寺)があります。日吉は、毎年6月に行われる、神田で若者たちが賑やかに歌いながら跳ね踊る「せつべとべ」という豊作祈願行事でも有名です。



日本の原風景 棚田体験

昼夜の温度差と山肌を流れる豊富な水、棚田特有の環境で美味しいお米を作っています。6月には土の感触を楽しみながら苗を植えていきます。棚田が黄金に染まる10月、稲刈り機で収穫した自慢の棚田米を湧水で炊いたご飯はふっくら。お米の香りが広がります。テラスで棚田の風景を眺めながら賑やかに食卓を囲みましょう。

宮島 秀樹さん



小松帯刀墓所(園林寺跡)

小松帯刀は幕末の名家老として明治維新に尽力した人物。園林寺跡は、小松家の菩提寺だった場所で、明治2年の廃仏毀釈によってそのほとんどが失われましたが、今なお多くの人々が訪れます。



東市来地区

民泊家庭 / 20軒 / 70

美山(苗代川)は、江戸時代から続く陶工のまちで、落ち着いた佇まいをみせています。海岸部の江口浜付近は「江口蓬菜」(*蓬菜=中国で仙人が住むとされる山)と呼ばれる独特な景観が続き、近海漁業の盛んな地域でもあります。



自分が食べている食べ物を知ろう

パンなどの原料になる小麦を作っています。11月下旬から12月上旬に種まきをし、1月から2月にかけて土の弾力を感じながら足で麦踏みを行います。根の張りを良くし丈夫な麦を作る大切な作業です。収穫時期は大麦が5月上旬、小麦が下旬からで、収穫後はうどんやピザづくりの体験ができます。

松山 謙三郎・良子さん



美山薩摩焼

島津家第17代義弘が、朝鮮に出兵した際に陶工を連れ帰ったことが起源。陶工たちは美山(苗代川)に集団で住まわされ、代々窯業に従事しました。今も多くの窯元が軒を連ねます。



吹上地区

民泊家庭 / 25軒 / 70

当地・伊作島津家出身の島津忠良は、当時内紛が絶えなかった家内を息子貴久の時代に渡ってまとめあげ、島津氏中興の祖といわれます。日本三大砂丘の一つ吹上浜は、海亀の産卵地でもあり、長年海亀の保護にも力を注いできた地域です。



生で食べれる アスパラガスづくり

アスパラガスは、2月~3月と5月~10月に天気や気温を見ながら、一番美味しい状態を見極めて収穫しています。生でも食べれるものをつくるには、米ぬかをまいて土の状態を整えたり、枝葉を整理して風通しを良くしたりとこまめな作業が必要です。感動できるほど美味しいアスパラ作りのお手伝いをお願いしますね。



森下 恵介・佳子さん



オススメ

吹上浜

日本三大砂丘の一つにも数えられる薩摩半島の西側に広大に広がる白砂青松の砂浜。長さは南北47キロにも渡り距離では日本最長。「吹上浜砂の祭典」はこの砂浜の砂で砂像を作るアートな催しで、例年多くの観光客で賑います。



日置市 主な体験プログラム

体験	可能時期	伊集院・日吉	東市来	吹上	
農業体験	さつまいも栽培	通年 (5~6月植え付け、9~11月収穫)	●	●	●
	野菜栽培	通年	●	●	●
	果樹栽培	通年	●	●	●
	園芸	通年	●	●	●
	お茶栽培	通年 (4~8月茶摘み)	●	●	●
	サトイモ栽培	通年 (4月植え付け、12月収穫)	●	●	●
稲作	通年 (6月田植え、10月稲刈り)	●	●	●	
漁業体験	貝掘り	3月 ~ 9月	●	●	●
	地引網 (★)	3月 ~ 9月	●	●	●
その他	林業	通年	●	●	●
	酪農	通年	●	●	●
荒天体験	餅づくり	通年	●	●	●
	団子づくり	通年	●	●	●
	農産加工	通年	●	●	●
	バターづくり	通年	●	●	●
	アイスづくり	通年	●	●	●
	木工	通年	●	●	●
	ちまきづくり	5月	●	●	●
竹炭づくり	通年	●	●	●	

(★)別途オプション料金となります。